

## キッズ・モニターアンケート「家庭の日について」実施報告

平成24年度第6回キッズ・モニターアンケート「家庭の日について」の実施結果は以下のとおりでした。

キッズ・モニターの皆さん、ご協力ありがとうございました。

### 1 実施概要

(1) 実施期間 平成24年12月6日～平成24年12月19日

(2) 回答者数等

	小学生	中学生	高校生	計
モニター登録者数(人)	164	160	53	379
回答者数(人)	92	74	30	196
回答率(%)	56.1	46.3	56.6	51.7
回答者の割合(%)	46.9	37.8	15.3	100

### 2 アンケート結果

Q1 あなたの年代について

あなたの年代にあてはまるものをえらんでください。

小学生 中学生 高校生

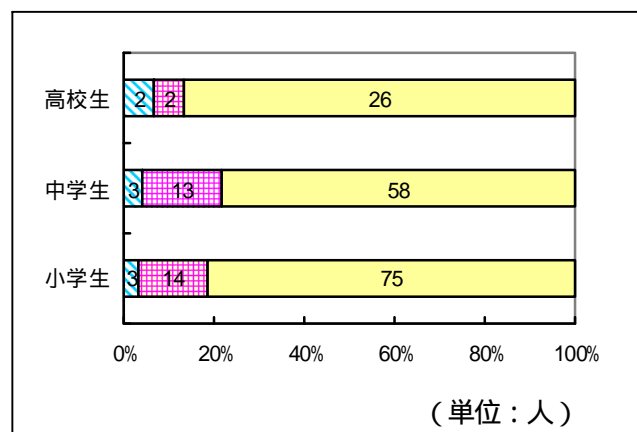
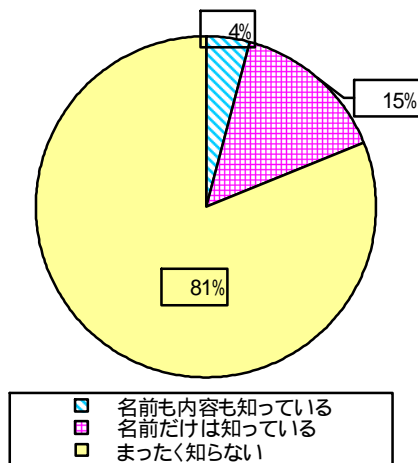
上記1、実施概要の(2)回答者数等のとおりです。

回答者の割合は、小学生が46.9%と最も高く、高校生は15.3%と低くなっています。

Q2 『家庭の日』について

あなたは『家庭の日』のことを知っていますか。

名前も内容も知っている 名前だけは知っている まったく知らない

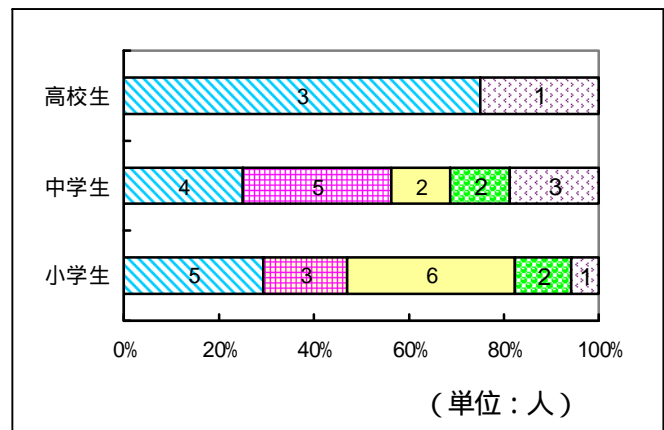
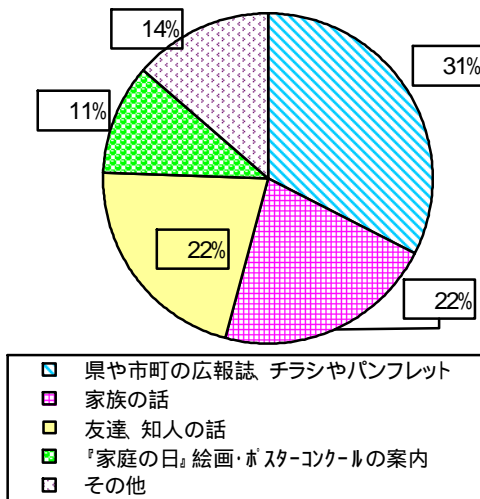


全体としては、約8割の方が、『家庭の日』を知らないと答えています。

Q3 『家庭の日』を知ったきっかけについて

Q2 で「名前も内容も知っている」「名前だけは知っている」と答えた人にお聞きします。次のうち、あなたが『家庭の日』を知ったきっかけとなったものを一つ選んでください。

- 県や市町の広報誌、チラシやパンフレット      家族の話      友達、知人の話  
『家庭の日』絵画・ポスターコンクールの案内      その他

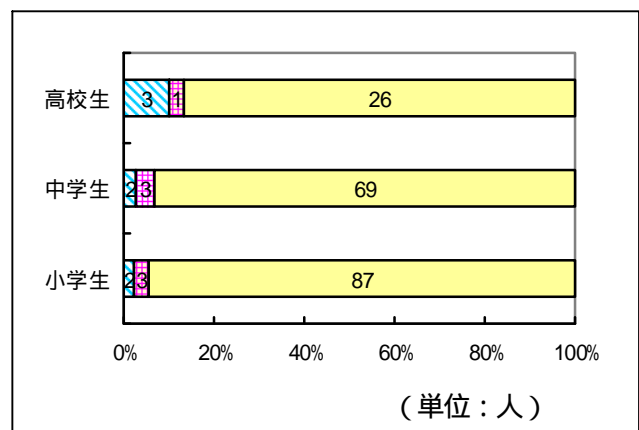
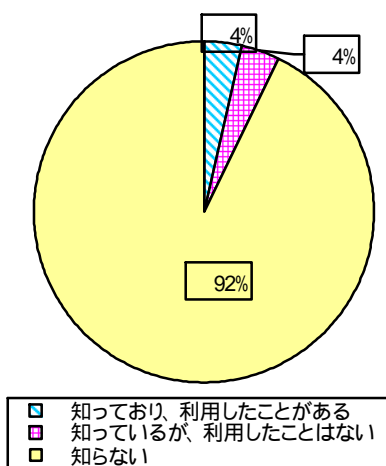


『家庭の日』を知ったきっかけは、約3割の方が市町の広報誌、チラシやパンフレットと答えており、家族の話、友達・知人の話がそれぞれ約2割となっています。

Q4 『家庭の日』の無料開放や無料イベント

『家庭の日』には、県立美術館や斎宮歴史博物館の無料開放とみえこどもの城で無料イベントを開催していることを知っていますか。

- 知っており、利用したことがある      知っているが、利用したことはない  
知らない

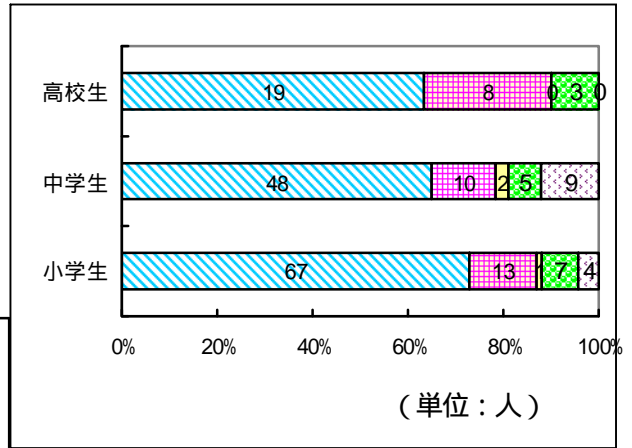
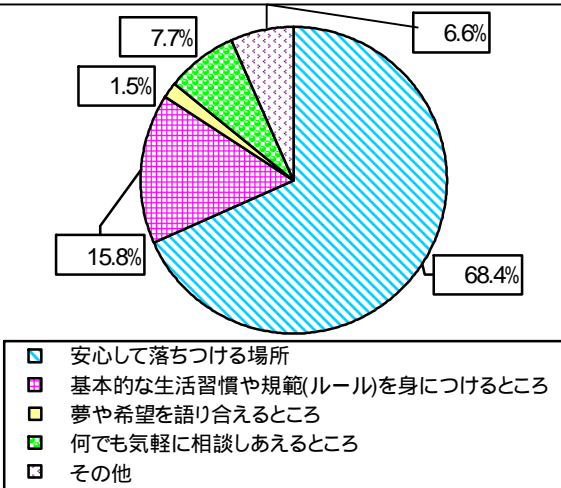


『家庭の日』の無料開放や無料イベントの開催については、約9割の方が知らないと回答しており、利用したことがある方は4%しかいませんでした。

Q5 家庭の役割

あなたにとって、家庭はどのようなところですか。

安心して落ちつける場所    基本的な生活習慣や規範(ルール)を身につける  
 ところ    夢や希望を語り合えるところ    何でも気軽に相談しあえるところ  
 その他

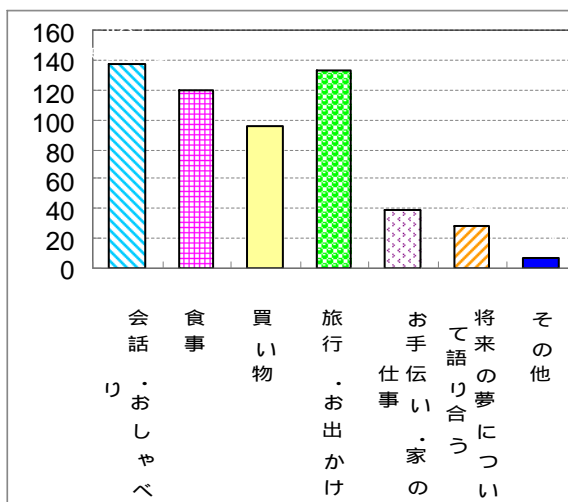


家庭の役割については、68.4%の方が安心して落ち着ける場所と、15.8%が基本的な生活習慣や規範(ルール)を身につけると回答しています。

Q6 家族との時間(複数回答可)

あなたは、家族と一緒に何をすると楽しいですか。

会話・おしゃべり    食事    買い物    旅行・お出かけ  
 お手伝い・家の仕事    将来の夢について語り合う    その他



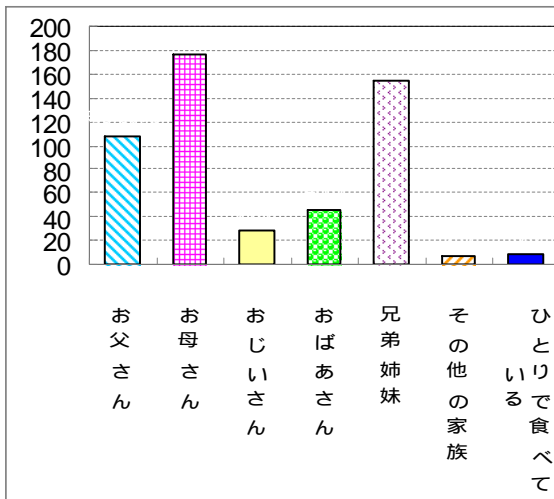
	小学生	中学生	高校生	計
会話・おしゃべり	70	47	20	137
食事	55	41	23	119
買い物	49	33	13	95
旅行・お出かけ	67	46	20	133
お手伝い・家の仕事	23	11	5	39
将来の夢について語り合う	12	10	6	28
その他	4	3	0	7
計	280	191	87	558

全体としては、「会話・おしゃべり」、「旅行・お出かけ」、「食事」、「買い物」の順に、家族と一緒にするのが楽しいとの回答がありました。

Q7 家族との食事（複数回答あり）

あなたは、普段、家族と一緒に夕食を食べていますか。一緒に食べている人すべてを選んでください（日によって違う場合は、一番回数が多い場合を教えてください）。

- お父さん      お母さん      おじいさん      おばあさん  
 兄弟姉妹      その他の家族      ひとりで食べている



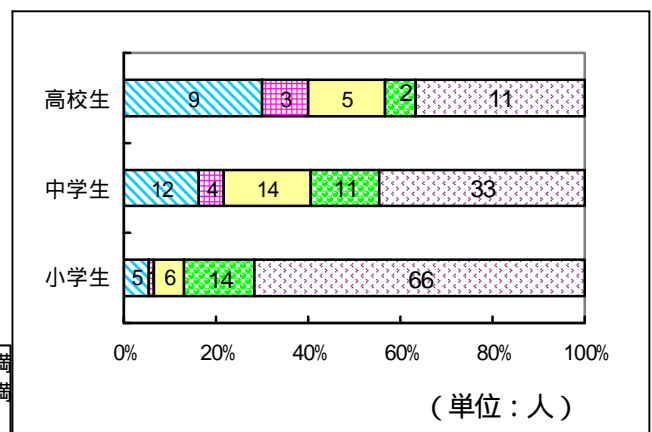
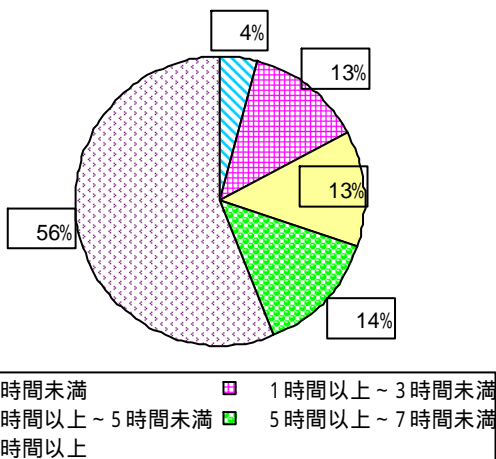
	小学生	中学生	高校生	計
お父さん	58	33	16	107
お母さん	88	61	27	176
おじいさん	16	11	1	28
おばあさん	22	20	4	46
兄弟姉妹	71	59	24	154
その他の家族	3	4	0	7
ひとりで食べている	1	4	3	8
計	259	192	75	526

全体としては、「お母さん」、「兄弟姉妹」、「お父さん」の順となりました。「ひとりで食べている」だけを選択した方が3名、「兄弟姉妹」だけを選択した方は6名でした。

Q8 家族団らんで過ごす時間

あなたは、お休みの日に家族と一緒に過ごす時間はどれくらいですか。

- 1時間未満      1時間以上～3時間未満      3時間以上～5時間未満  
 5時間以上～7時間未満      7時間以上

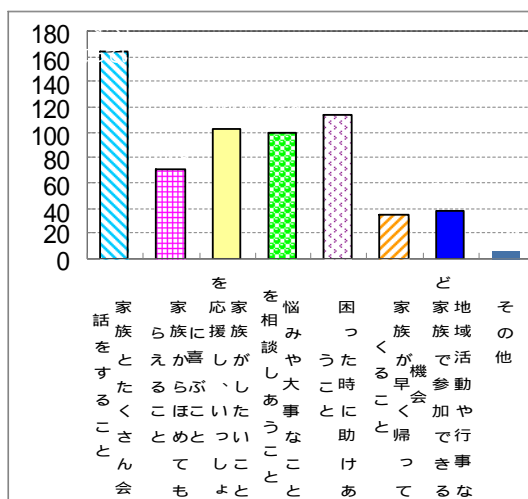


全体としては、56%が家族と一緒に過ごす時間は7時間以上と回答しています。小学生の72%が7時間以上と回答しているのに対し、中学生では45%、高校生では37%と年齢が上がるにつれて家族と一緒に過ごす時間は減少しています。

Q9 家族の絆（つながり・結びつき）を深めるために必要なこと（複数回答可）

あなたは、家族の絆を深めるために必要なことは何だと思いますか。

家族とたくさん会話をする、 家族からほめてもらえる、 家族がしたいことを応援し、一緒に喜ぶ、 悩みや大事なことを相談しあう、 困った時に助けあう、 家族が早く帰ってくること（ノー残業デー等の取組）、 地域活動や行事など家族で参加できる機会、 その他



	小学生	中学生	高校生	計
たくさん会話をする	82	58	25	165
ほめてもらえる	38	23	10	71
家族を応援し、一緒に喜ぶ	53	35	14	102
相談しあう	49	33	17	99
困った時に助けあう	58	36	19	113
家族が早く帰ってくる	17	11	6	34
家族で参加できる機会	25	9	4	38
その他	2	4	1	7
計	324	209	96	629

全体としては、「家族とたくさん会話をする」、「困った時に助けあう」、「家族がしたいことを応援し、一緒に喜ぶ」、「悩みや大事なことを相談しあう」の順となりました。

### 3 まとめ

『家庭の日』の認知度について聞いたところ、8割以上の方が知らないと回答し、また、親子のふれあいや家族の絆を深めるために実施している県立美術館等の無料開放についても、9割以上の方が知らないと回答しています。引き続き『家庭の日』の周知・啓発に取り組む必要があると考えられます。

また、家庭の役割としては、約7割の方が安心して落ちつける場所と回答しており、家族と一緒に会話や食事、買い物やお出かけなどをする時が楽しいとの回答でした。また、家族の絆を深めるためには、家族とたくさん会話をする、家族がしたいことを応援し、一緒に喜ぶ、悩みなどを相談しあう、困った時に助けあうことなどが必要との意見をいただきました。

県では、子どもの育ちにおける家族の絆の大切さが認識され、社会全体で子育て家庭を応援する地域社会づくりをめざしています。そのために、家族の絆の大切さを事業所内で啓発していただいたり、家族の絆を深められるような取組を実施していただいている事業所を『家庭の日』協力事業所として登録しています。

今回のアンケート結果やご意見については、これからの県の『家庭の日』の啓発や、『家庭の日』協力事業所等への周知・啓発に活かしていきたいと考えています。

キッズ・モニターの皆さん、アンケートに回答いただき、ありがとうございました。